

事業所名		児童デイサービスやよいのあかり				支援プログラム（令和6年度）		作成日		令和6	年	10	月	1	日
法人理念		障害の有無にかかわらず、その人らしく役割をもって安心して居られる社会をつくろう。													
支援方針		わたしたちが目指す子どもの姿は、「自分や周囲の人を大切にできる子」「自信をもって行動できる子」「誰かのために働ける子」です。これは障害のあるなしに関わらず、大人になるために必要な力であり、本来は私たちのあるべき姿だと思います。私たちが支援しているのは特別な子どもたちではありません。個性豊かな、そして日常の中にどこか困り感のある子どもたちです。私たちは子どもたちに、誰かのために働き、誰かを喜ばせ、人としての達成感や満足感、幸福感をたくさん味わうことができるよう、事業所での様々な経験を大切にしていきます。													
営業時間			9 時		0 分から		17 時		0 分まで	送迎実施の有無		ありなし			
本人支援	健康・生活	摂食、嚥下、口腔ケア、排泄、着脱、入浴、整容、などのADLの獲得と向上を計画的に支援します。 医療的ケアの必要な方に対して、医師の指示書に基づいて医療的ケアを実施します。													
	運動・感覚	姿勢保持（座位、立位等）の安定と強化、正しいポジショニングの維持、移動、移乗の際の協力動作の獲得を支援します。体力づくりのための継続的な運動を実施します。 感覚鈍麻の改善、感覚過敏の軽減と順応のための感覚遊びを継続して実施します。													
	認知・行動	固有感覚を確立し、色や形の認識を体験的に取得できる活動を実施します。 集中とリラックスの方法、余暇活動の充実等を、様々な体験を通して経験できるよう支援します。													
	言語 コミュニケーション	個別の非言語コミュニケーション（身振り/指差し/サイン/ジェスチャー/絵カード等）を活用して、自分の意思の表出や相手の考えの理解ができるよう継続して支援します。 行動や感情をどのようにしたらコントロールできるようになるかを考えて、状況や場面に合わせた対応を学べるように継続して支援します。													
	人間関係 社会性	個別、小集団、大集団それぞれに必要なスキルを獲得するために、様々な活動を通じて経験を積み重ねます。 放課後デイでの生活、学校生活、家庭生活、地域生活等における自らの役割や関り方を考える機会をできるだけ多く得られるよう支援します。													
家族支援		発達段階や特性に関する理解を深めるための定期的な情報共有をします。 保護者同士の交流の機会が持てるように働きかけます。							移行支援		事業所間で連携して情報を共有し、保護者に伝えとともに、必要に応じて仲介しスムーズに移行できるよう支援します。				
地域支援・地域連携		学校、医療機関等と連携して情報を共有し、個別支援計画の作成や合理的配慮の活用等の環境調整を行います。							職員の質の向上		事業所内外の研修への積極的な参加の促進。関連する資格取得の支援。				
主な行事等		毎年7月開催の法人行事「ありんこまつり」/ 学校の長期休業に合わせた外出行事 /卒業、進級時期に合わせた記念行事 / 外部主催の作品展等への参加 赤い羽根街頭募金などのボランティア活動への参加													